

# 兵庫県健康づくり推進実施計画(第3次)

## － 目標指標・参考指標一覧 －

### 目標数一覧表

分野	小見出し	指標	項目	うち再掲	参考指標
主な目標	主目標	2	4	0	0
生活習慣病予防等の健康づくり	(1)主体的な健康づくりに向けた健康意識の向上	16	25	0	2
	(2)栄養・食生活の改善	9	11	0	3
	(3)身体活動(運動・生活活動)の増加	3	4	0	0
	(4)たばこ(受動喫煙)対策の推進	4	10	0	0
	(5)次世代への健康づくり支援	6	9	0	4
	(6)高齢者の健康づくり支援	3	3	1	2
	(7)感染症その他の疾病予防	4	6	4	1
歯及び口腔の健康づくり	(1)総合的な推進	1	1	0	2
	(2)次世代への支援	2	2	0	3
	(3)青年期・成人期の取組	2	4	2	2
	(4)高齢期の取組	1	1	0	2
	(5)配慮を要する者への支援	2	2	0	2
	(6)歯及び口腔の健康づくりの推進に向けた体制の整備	0	0	0	3
こころの健康づくり	(1)ライフステージに対応した取組	8	11	1	1
	(2)認知症施策の推進	1	1	0	2
	(3)精神障害者への支援	0	0	0	1
健康危機事案への対応	(1)災害時における健康確保対策	0	0	0	2
	(2)食中毒の発生予防・拡大防止	0	0	0	3
	(3)感染症の発生予防・拡大防止	0	0	1	1
合計		64	94	9	36
(参考)健康日本21 第3次		65			

# 基本目標

## (1) 健康寿命の延伸

- 6ヶ年で0.75歳の延伸を目指す

目標指標		現状(R2)	目標(R8)
健康寿命(平均自立期間)の延伸	男性	80.41歳	81.16歳
	女性	84.93歳	86.68歳

※国の健康寿命延伸プランにおいて、2016年～2040年の24カ年で3歳の健康寿命延伸を掲げていることから、当計画の計画期間(6カ年)で換算し、0.75歳の延伸を目標としている。

※本計画における健康寿命は「日常生活動作が自立している期間の平均」を指す。厚労省の算定の指針に基づき、介護保険の要介護度2以上を「不健康」とし、兵庫県健康増進課にて算出している。

## (2) 二次医療圏域間における健康寿命の差の縮小

- 圏域間格差の縮小を目指す

目標指標		現状(R2)	目標(R8)
2次保健医療圏域間の健康寿命の差の縮小	男性	1.92歳	減少
	女性	1.31歳	減少

3

# 分野別取組 1 生活習慣病予防等の健康づくり

## 1 主体的な健康づくりに向けた健康意識の向上

目標指標		現状	目標
①健康無関心層の減少		9.2%(R3)	減少(R10)
②虚血性心疾患の年齢調整死亡率の減少	男性	R5.12把握	減少(R7)
	女性	R5.12把握	減少(R7)
③脳血管疾患の年齢調整死亡率の減少	男性	R5.12把握	減少(R7)
	女性	R5.12把握	減少(R7)
④特定健診の受診率の向上		52.7%(R3)	60%(R9)
⑤特定保健指導の実施率の向上		22.7%(R3)	30%(R9)
⑥メタボリックシンドローム該当者割合の減少		15.8%(R3)	検討中
⑦メタボリックシンドローム予備群割合の減少		12.4%(R3)	
⑧収縮期血圧130mmHg以上の者の減少	男性	39.5%(R1)	減少(R7)
	女性	29.0%(R1)	減少(R7)
⑨HbA1C 8.0%以上の者の減少	男性	1.85%(R1)	1.5%(R7)
	女性	0.66%(R1)	0.5%(R7)
⑩糖尿病合併症の減少(糖尿病性腎症新規透析導入患者の減少)		614人(R3)	550人(R8)

# 分野別取組 1 生活習慣病予防等の健康づくり

## 1 主体的な健康づくりに向けた健康意識の向上

目標指標		現状	目標
①糖尿病の治療を継続している人の増加		68.5%(R3)	75%(R10)
②生活習慣病のリスクを高める量を飲酒をしている人の減少		11.0%(R3)	10%(R10)
③健康づくりチャレンジ企業登録数の増加		2012社(R3)	2700社(R10)
④がん年齢調整死亡率が全国値より低い状態の達成		69(R2)	検討中
⑤がん検診受診率の増加	胃がん	36.8%(R1)	
	肺がん	44.6%(R1)	
	大腸がん	42.5%(R1)	
	子宮頸がん	39.1%(R1)	
	乳がん	42.1%(R1)	
⑥脂質高値(LDLコレステロール160mg/dl以上)の者の減少	男性	12.8%(R1)	9.6%(R7)
	女性	13.9%(R1)	10.5%(R7)
参考指標		現状	
①かかりつけ医をもつ人		69.7%(R3)	
②かかりつけ薬剤師・薬局を持つ人		35.3%(R3)	

# 分野別取組 1 生活習慣病予防等の健康づくり

## 2 栄養・食生活の改善

目標指標		現状	目標
①1日あたりの食塩摂取量の減少(中央値)		9.8g(R3)	検討中
②1日あたりの野菜摂取量の増加(中央値)		303.5g(R3)	
③果物摂取量100g未満の人の割合の減少(年齢調整値)		52.0%(R3)	
④朝食を食べる人の割合の増加(20代)	男性	47.0%(R3)	
	女性	64.9%(R3)	
⑤主食・主菜・副菜を組み合わせた食事を1日2回以上、ほぼ毎日食べている人の割合の増加(年齢調整値)		37.5%(R3)	

# 分野別取組 1 生活習慣病予防等の健康づくり

## 2 栄養・食生活の改善

目標指標		現状	目標
⑥毎日、家族や友人と楽しく食事をする人の割合の増加(年齢調整値)		71.1%(R3)	検討中
⑦適正体重※を維持している人の割合の増加 (20～60代の男性の肥満、女性のやせの減少)	男性	31.6%(R3)	
	女性	10.5%(R3)	
⑧低栄養傾向(BMI20以下)の高齢者(65歳以上)の割合の増加抑制		18.9%(R3)	
⑨利用者に応じた食事の計画、調理及び栄養の評価・改善を実施している特定給食施設の割合の増加		71.3%(R3)	

※BMI18.5以上25未満(65歳以上はBMI20を超え25未満)

参考指標	現状
①栄養ケア・ステーションの設置数	17ヶ所(R3)
②若年女性のやせ対策に取り組む市町	調査中
③減塩・フレイル予防に関して行動・評価指標を設定し取り組む事業者数	

7

# 分野別取組 1 生活習慣病予防等の健康づくり

## 3 身体活動(運動・生活活動)の増加

目標指標		現状	目標
①日常生活における歩数の増加	男性	7,405歩(R4)	検討中
	女性	6,561歩(R4)	
②運動を継続している人の割合の増加(1回30分以上の運動を週2回以上実施+1年以上継続)		63.0%(R3)	
③日常生活のなかで体を動かすことを習慣化している人の割合の増加		36.5%(R3)	増加(R10)

# 分野別取組 1 生活習慣病予防等の健康づくり

## 4 たばこ（受動喫煙）対策の推進

目標指標		現状	目標
①習慣的に喫煙している人の割合の減少	県全体	12.4%(R3)	検討中
	男性	23.7%(R3)	
	女性	4.0%(R3)	
②受動喫煙の機会を有する者の割合の減少	職場	21.6%(R3)	
	飲食店	17.3%(R3)	
	行政機関	3.5%(R3)	
	医療機関	4.6%(R3)	
	家庭	8.0%(R3)	
③対象施設における受動喫煙の防止等に関する条例の認知度の増加		R5.12把握	
④COPD※死亡率の低下		8.0(R3)	

※COPD（慢性閉塞性肺疾患）は肺の炎症性疾患で、咳・痰・息切れを主な症状として緩やかに呼吸障害が進行する疾患です。喫煙が最大のリスク要因となっています。

9

# 分野別取組 1 生活習慣病予防等の健康づくり

## 5 次世代への健康づくり支援

目標指標		現状	目標
①妊婦の喫煙率の減少		2.0%(R2)	検討中
②育児期間中の両親の喫煙率の減少	父親	30.4%(R2)	
	母親	5.0%(R2)	
③スポーツをする子どもの増加	小学生	43.6%(R3)	
	中学生	71.4%(R3)	
	高校生	52.8%(R3)	
④20歳未満※の飲酒をなくす		0.9%(R3)	
⑤20歳未満※の喫煙をなくす		0%(R3)	
⑥20歳未満※の肥満の減少		4.1%(R3)	

※20歳未満とは健康づくり実態調査における中1，中3，高3を指します

## 分野別取組 1 生活習慣病予防等の健康づくり

### 5 次世代への健康づくり支援

参考指標		現状
①乳児のSIDS※による乳児死亡率		11.3(R3)
②乳児健診等の把握率	乳児健診	99.9%(R3)
	1歳6ヶ月児健診	99.8%(R3)
	3歳児健診	99.6%(R3)

※SIDS（乳幼児突然死症候群）は、それまでの健康状態及び既往症からその死亡が予測できず、死亡状況調査及び解剖検査によってもその原因が同定されない、原則として1歳未満の児に突然の死をもたらす症候群のことをいいます。

11

## 分野別取組 1 生活習慣病予防等の健康づくり

### 6 高齢者の健康づくり支援

目標指標	現状	目標
①低栄養傾向(BMI20以下)の高齢者(65歳以上)の割合の増加抑制(再掲)	18.9%(R3)	検討中
②住民主体の介護予防に資する通いの場への参加者数の増加	136,781人(R2)	
③高齢者有業率の増加	37.3%(R4)	増加(R9)

参考指標	現状
①兵庫県版フレイルチェック(後期高齢者の質問票+兵庫県フレイルチェック版)を行った高齢者数	2,292人(R3)
②オーラルフレイル対応歯科医療機関数	確認中

# 分野別取組 1 生活習慣病予防等の健康づくり

## 7 感染症その他の疾病予防

目標指標		現状	目標
①家庭での感染症予防対策に取り組む人の割合の増加	手洗い	95.1%(R3)	95%(R10)
	うがい	64.3%(R3)	70%(R10)
②メタボリックシンドロームの該当者の割合の減少(再掲)		16.1%(R2)	検討中
③糖尿病の治療を継続している人の増加(再掲)		68.5%(R3)	75%(R10)
④習慣的に喫煙している人の割合の減少(再掲)	男性	23.7%(R3)	検討中
	女性	4.0%(R3)	
参考指標		現状	
①熱中症救急搬送者数		3,301人(R4)	

13

# 分野別取組 2 歯及び口腔の健康づくり

## 1 総合的な推進

目標指標	現状	目標
①過去1年間に歯科健康診査を受診した人の割合の増加(20歳以上)	60.2%(R3)	検討中
参考指標		現状
①かかりつけ歯科医をもつ人の割合		75.9%(R3)
②定期的な歯石除去や歯面清掃する人の割合		58.8%(R3)

## 2 次世代への支援

**※歯及び口腔の健康づくり推進部会にて協議**

目標指標	現状	目標
①3歳児で4本以上のう歯のある歯を有する者の割合の減少	2.9%(R3)	検討中
②12歳児で歯肉に炎症所見を有する者の減少	4.1%(R3)	
参考指標		現状
①妊婦歯科健診、または歯科専門職による相談に取り組む市町数		40市町(R4)
②フッ化物応用に取り組む市町数		(集計中)
③12歳児での一人平均むし歯数が1歯未満である市町数		35市町(R3)

## 分野別取組 2 歯及び口腔の健康づくり

### 3 青年期・成人期の取組

目標指標		現状	目標
①過去1年間に歯科健康診査を受診した人の割合の増加(一部再掲)	20代	45.4%(R3)	検討中
	30代	59.1%(R3)	
②進行した歯周病(歯周炎)を有する者の割合の減少	40歳	44.2%(R3)	
	50歳	53.9%(R3)	

参考指標	現状
①50代における咀嚼自好者の割合の増加	84.7%(R3)
②特定健診の質問票から、必要な人に対して歯科受診を勧めている市町数	22市町(R4)

※歯及び口腔の健康づくり推進部会にて協議

### 4 高齢期の取組

目標指標	現状	目標
①口腔機能の維持・向上における咀嚼良好者割合の増加(60歳以上)	65.1%(R3)	検討中

参考指標	現状
①後期高齢者歯科健診で、口腔機能検査を実施する市町数	集計中
②80歳で20本以上の歯を有する者の割合	54.6%(R3)

15

## 分野別取組 2 歯及び口腔の健康づくり

### 5 配慮を要する者への支援

目標指標	現状	目標
①障害者(児)入所施設での過去1年間の歯科健診実施率の増加	64.2%(R3)	検討中
②介護老人福祉施設及び介護老人保健施設での過去1年間の歯科健診実施率の増加	31.9%(R3)	

参考指標	現状
①障害者(児)、要介護高齢者、難病患者等配慮を要する者への歯科相談・その他の事業を実施している市町数	集計中
②要介護者を支援する各種専門職を対象とした誤嚥性肺炎を予防するための事業(口腔ケア研修会等)を実施している市町数	集計中

※歯及び口腔の健康づくり推進部会にて協議

### 6 歯及び口腔の健康づくりの推進に向けた体制の整備

参考指標	現状
①歯科衛生士を配置する市町数	18市町(R5)
②歯科口腔保健に関する事業を実施する際、PDCAサイクルに沿った評価を行っている市町数	集計中
③災害時における保健活動マニュアルや指針等に歯科に関する項目が記載されている市町数	集計中

16



## 分野別取組 3 こころの健康づくり

### 1 ライフステージに対応した取組

目標指標	現状	目標
①自殺者数の減少	916人(R3)	600人(R9)
②眠れないことが頻繁にある人の割合の減少	20歳未満(※)	4.0%(R3) 減少(R10)
	20歳以上	14.7%(R3) 減少(R10)
③ストレスを大いに感じる人の割合の減少	20歳未満(※)	31.2%(R3) 減少(R10)
	20歳以上	19.3%(R3) 減少(R10)
④悩み・苦労・ストレス・不満などがあつたとき、相談できない人の割合の減少	20歳未満(※)	12.6%(R3) 減少(R10)
	20歳以上	3.1%(R3) 減少(R10)
⑤ワーク・ライフ・バランス推進宣言企業数	3,107社(R3)	検討中
⑥多量に飲酒する人の割合の減少	3.0%(R3)	減少(R10)
⑦住民主体の介護予防に資する通いの場への参加者数の増加(再掲)	136,781人(R2)	検討中
⑧住民主体の介護予防に資する通いの場の箇所数	7,063箇所(R2)	

※20歳未満とは健康づくり実態調査における中1, 中3, 高3を指します

参考指標	現状
①労働安全衛生法に基づくストレスチェック実施率	81.0%(R2)

17

## 分野別取組 3 こころの健康づくり

### 2 認知症施策の推進

目標指標	現状	目標
①チームオレンジのネットワーク構築市町数の増加	16市町(R4)	41市町(R10)
参考指標		現状
①認知症予防健診等早期受診を促進するしくみづくりに取組む市町数		14市町(R4)
②認知症施策推進会議等へ認知症の人本人が参画する市町数		5市町(R4)

### 3 精神障害者への支援

参考指標	現状	
①長期在院者数(1年以上)	65歳以上	3,550人(R4)
	65歳未満	2,122人(R4)

## 分野別取組 4 健康危機事案への対応

参考指標	現状
災害時保健指導マニュアル策定市町数	21市町(R3)
災害に備え、非常食等を備蓄している世帯の割合	74.0%(R3)
学校給食を原因とする食中毒の年間事件数	0件(R3)
大量調理施設を原因とする食中毒の年間事件数	0件(R3)
家庭における自然毒による食中毒の年間事件数	0件(R3)
家庭での感染症予防対策に取り組む人の割合	89.3%(R3)